

米沢興譲館高校SSH通信

科学者の卵養成講座発表会

平成31年3月9日、東北大学が主催している「科学者の卵養成講座」の発表会が東北大学青葉山キャンパスにて行われた。本校からは、研究発展コース口頭発表・ポスター発表に2名、研究推進コースポスター発表に1グループ3名が発表した。その模様をお伝えする。



探究型 科学者の卵養成講座
発表会
二年一組 女子

私たちは、東北大学で開催された科学者の卵養成講座に今年度参加し、3月9日に研究成果を発表しました。最後の最後までいろいろと失敗の連続で、やりたかったこともやりきれずに迎えた発表会であったため、正直自信がありませんでした。しかし、第2位という評価をいただき、驚いたとともに自分たちの研究に自信を持つことができました。初めはただ漠然とメタン菌について研究したいと考えていた私たちが、担当してくださった2人のメンターに助言をいただきながら、現在の廃材を活用したアンモニアの簡易的吸着法というテーマに辿り着くことができました。その後も研究の進め方だけでなく、ポスターの作成の仕方やプレゼンテーションの仕方、エクセルやパワーポイントの活用方法まで、たくさんのお話を教えていただきました。これらはこの先、研究だけでなく、多くの場面で活かせる財産です。これからも研究をサポートしてくださった多くの方々への感謝を忘れず、様々なことにチャレンジしていきたいです。



次代に必要な課題解決能力とその向上について
1年2組 男子

2019年3月9日、東北大学工学部にて開催された、東北大学探究型科学者の卵養成講座「科学者の卵養成講座」の研究発表会に参加した。発表会には約200人ももの参加者が集い、発展コースで研究室に配属された生徒の研究および選抜生徒の個人研究の口頭発表がそれぞれ行われた。更に、既述の研究に加え、学校推薦で研究を行なった生徒によるポスター発表も行われた。そこでは多種多様な分野の研究発表が行われ、熱い議論が繰り広げられた。なかには特許を獲得したものもあり、最先端の研究に触れることが出来た充実した時間であった。発表会を通して、社会の課題がより鮮明に視えたように感じる。また、そのような課題を発見、解決しようとする人材の育成が必要だと感じた。このことから、本校のSSH（スーパーサイエンス・リサーチ）のような取り組みが如何に重要であるかを感じさせられた。この課題発見能力、課題解決能力の向上を図るには、SSHやIT（異分野融合サイエンス）等により一層力を入れていく必要があるだろう。



119

山形県立米沢興譲館高等学校SSH事務局

URL: <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/htdocs> Email: yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

